

車両 ドイツで燃料電池車両を契約

原題: LNVG signs iLint contract
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.173 No.12 (2017-12) p.7

ドイツのニーダーザクセン州運輸公社はアルストムおよびガス供給会社Lindeと14編成のCoradia iLint燃料電池車両の納入・30年間の保守作業(水素補給を含む)を行う契約を結びました。2編成は2018年から営業運転に入る予定で、2021年には全編成がそろいます。車両基地に水素補給設備を設けますが、1000万ユーロもの設置費用は国が負担します。使用する水素を風力発電の電力による電気分解で生み出します。同州の経済・運輸相は、「非電化区間でディーゼル車に代わる新技術の車両を得ることができた」と語りました。



最高速度は140km/hで1000km走行可能なCoradia iLint燃料電池車両

輸送 スペイン高速鉄道路線のさらなる前進

原題: Still moving forward
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.174 No.2 (2018-2) pp.46-48

近年の世界的な経済・社会環境悪化にもかかわらず、スペインでは新たな高速鉄道路線の建設を進めています。過去30年間の投資の結果、高速鉄道の総延長は3243kmに達します。これは国内鉄道総延長の20%にあたり、世界でも中国に次ぎ2番目の路線長です。国内27都市を結び、高速鉄道の駅から50km以内に居住する国民は同国人口の40%です。少ない原資でも既存プロジェクトを中心に建設が進められましたが、2017年の景気回復を受け、新たなプロジェクトを検討しています。ヨーロッパ投資銀行の融資により、優先順位の高い新路線や既設路線の強化を進めています。その主なものは、ビトリア、ビルバオ、



大西洋回廊のトンネルに投入されたトンネルボーリングマシン

サン・セバスティアンを結ぶとともに、欧州横断運輸ネットワークの一部をなすバスク・リンク、バレンシア〜バルセロナ間の線路改良ないしは複合ゲージ化、バレンシア〜カステリオン間、バレンシア〜バルセロナ間の新線建設、バレンシアでの折り返し運転回避のための都市トンネルなどです。

輸送 スイス連邦鉄道の輸送改善長期計画

原題: Fast and frequent
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.173 No.12 (2017-12) p.21

スイス連邦鉄道は2040年までに輸送力を50%増強して、1日あたりの利用者約200万人をめざす計画を発表しました。STEP AS 2035という名称の計画では、2035年までに115億スイスフランを投じる予定です。計画前半のSTEP AS 2025で輸送上のボトルネック区間の解消をめざします。幹線のコア区間では長距離列車を15分間隔で運転する計画です。チューリッヒ〜ベルン間、チューリッヒ〜ツークヘルツェルン間が該当します。また計画の目玉は、1日550本の列車を運行しているチューリッヒ〜ヴァンタートゥール間にブリュッテナートンネルを建設し、複々線化することです。さらに貨物輸送の高速化も盛り込まれます。



STEP AS 2035計画の中でも優先順位が高い、チューリッヒ〜ツークヘルツェルン間の線路容量のひっ迫への対応

軌道 フォスロ社の高性能レールミリングマシン

原題: High performance miller joins the Vossloh fleet
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.174 No.1 (2018-1) pp.42-43

フォスロ社は最新のレールミリングマシンをドイツ鉄道において運用することを、連邦鉄道局と合意する見通しです。同社のフォスロレールサービスは鉄道事業者と保守業務契約を結び、オンレールプラントの開発を進めてきました。HPM-1は従来の経験を踏まえて開発した最新のミリングマシンで、運転室を含む動力ユニット、研削車両、駆動用発電機を搭載する付随車両により構成されます。片レールあたり3個の研削輪(主研削輪と2つの仕上げ研削輪)を有し、1パス当たり3mmの研削量で走行速度は約2.0km/hです。一方、ドイツでは同社のHSG(高速グライディングユニット)が展開しています。これは80km/hで



フォスロ社の基地で公開された3重連のHPM-1ミリングマシン

走行し、レール頭頂面の微細な疲労層除去に使用しています。従来ドイツのHSGは機関車けん引でしたが、中国の保線機械メーカーCRCCEと共同で自走式HSGを開発しました。車両部分を中国が、主要機械部分をフォスロ社が担当しました。



WRT(海外鉄道技術情報)は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP(www.rtri.or.jp)をご覧ください。
⇒問合先(研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp